

授業科目名	発達心理学	担当教員名	福井 ふみ子
科目区分	教職・保育に関する科目	施行規則に定める科目区分等	教育の基礎理解に関する科目-幼児の心身の発達及び学習の過程 / 保育の対象の理解に関する科目
必修・選択/単位数	必修 / 2単位 (30時間)	授業方法/担当形態	講義 / 単独
開講学年/学期	2年 前期 (1-2期) / 年間開講数 1講座	特記事項	※実務経験のある教員等による授業 児童相談所の臨床心理相談員として、また幼稚園のキンダーカウンセラーとして、発達等についての相談業務に携わった経験を活かし、理論と実践を結びつけた授業を行っている。 ※「保育の心理学」の指導内容を含む ※オンデマンド授業
授業の概要及び全体目標	子どもの発達を年代ごとに追っていく。		
到達目標	<p>1-幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程</p> <p>(1)幼児、児童及び生徒の心身の発達の過程：幼児、児童及び生徒の心身の発達の過程及び特徴を理解する。 ①幼児、児童及び生徒の心身の発達に対する外的及び内的要因の相互作用、発達に関する代表的理論を踏まえ、発達の概念及び教育における発達理解の意義を理解している。 ②乳幼児期から青年期の各時期における運動発達・言語発達・認知発達・社会性の発達について、その具体的な内容を理解している。 (2)幼児、児童及び生徒の学習の過程：幼児、児童及び生徒の学習に関する基礎的知識を身に付け、発達を踏まえた学習を支える指導について基礎的な考え方を理解する。 ①様々な学習の形態や概念及びその過程を説明する代表的理論の基礎を理解している。 ②主体的学習を支える動機づけ・集団づくり・学習評価の在り方について、発達の特徴と関連付けて理解している。 ③幼児、児童及び生徒の心身の発達を踏まえ、主体的な学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解している。</p> <p>2-保育の心理学</p> <p>(1)保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ、発達を捉える視点について理解する。 (2)子どもの発達に関わる心理学の基礎を習得し、養護及び教育の一体性や発達に即した援助の基本となる子どもへの理解を深める。 (3)乳幼児期の子どもの学びの過程や特性について基礎的な知識を習得し、保育における人との相互的関わりや体験、環境の意義を理解する。</p>		
テキスト	使用しない（プリント配付）		
参考書・参考資料等	「生涯発達心理学」B. M. ニューマン、F. R. ニューマン著(川島書店)、「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」(株式会社チャイルド本社)、「ラーニングガイド児童発達の理論」R.M.トーマス著(新曜社)、「新版生涯発達心理学 エリクソンによる人間の一生とその可能性」B.M.ニューマン、F.R.ニューマン著 福富護訳(川嶋書店)		
成績評価の方法	発表（グループ・事例）：50% 小作文（2回）：20% 理解度・到達度チェック：20% 平常点（授業態度・意欲）：10%		
授業外（事前・事後）学習の方法、オフィスアワー等	この授業はオンデマンドで実施する場合があります。予習テーマや授業レポートが出題されることがありますので、その場合はその指示にしたがってください。		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	オリエンテーション 講義概要の説明 発表の分担決め	1-(1)-①,1-(1)-②	
第2回	胎児～0歳児の発達（胎児）	1-(1)-①,1-(1)-②	
第3回	1～2歳児の発達（乳児）	1-(1)-①,1-(1)-②	
第4回	3～4歳児の発達（年少・年中）	1-(1)-①,1-(1)-②	
第5回	5～6歳児の発達（年長）	1-(1)-①,1-(1)-②	
第6回	7～8歳児の発達（小学校低学年）	1-(1)-①,1-(1)-②	
第7回	9～10歳児の発達（小学校中学年）	1-(1)-①,1-(1)-②	
第8回	11～12歳児の発達（小学校高学年） 理解度・到達度チェック（30分）	1-(1)-①,1-(1)-②	
第9回	実習で気になった子のケース会議	1-(2)-①,1-(2)-②,1-(2)-③	
第10回	13～15歳児の発達（中学生）	1-(1)-①,1-(1)-②	
第11回	16～18歳児の発達（高校生）	1-(1)-①,1-(1)-②	
第12回	18～30歳（高卒以上～成人前期）の発達	1-(1)-①,1-(1)-②	
第13回	30～60歳（成人中期）の発達	1-(1)-①,1-(1)-②	
第14回	60歳～（成人後期）の発達	1-(1)-①,1-(1)-②	
第15回	まとめ（用語解説、質疑応答など）	1-(1)-①,1-(1)-②	